

---

# 私達の愛

蒼葉 樹

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

私達の愛

### 【Zマーク】

Z5035A

### 【作者名】

蒼葉 樹

### 【あらすじ】

結ばれてはならなかつた、兄弟の愛。

私の心に、闇が落ちた。

大好きだった慎。大好きだったあの声。

遠ざかつて行く彼を、静かに見つめる  
事しか出来なかつた私。

声をかけて、彼の腕を&#25681;めなかつた私。

私の心には、光が無い。光が無いから、影が無い。

有る筈の無い彼の影を、何日も捜し続ける。見つけられず、座り込む。

そんな毎日の繰り返し。

私がこの世で一番愛した人。

彼が生きていても、私達が結ばれる事は、決して許されない。

“人は、愛し愛される為に生まれてくる”といつ。  
もしも、愛する相手が愛してはいけない人だったら、何の為に生き  
ればいいの？

私の愛した、双子の兄。

血の繋がりのある私達は、愛し合ってしまった。

私達の恋は、禁断の恋。

中学の頃、慎にいきなりされた、接吻から始まつた。<sup>キス</sup>

慎を押しのけようとしたが、彼は唇を離すまいと必死になる。  
初めての感覚に酔つた私は、彼の唇を受け入れてしまつた。

高校に上がる頃には、慎はもうキスでは済まなくなつており、私は  
常に押し倒される。

慎が私の中に居る間は、最高に快樂。

同じ屋根の下に住む私達は、毎晩の様に結ばれていた。

慎の身体は、私達が気付かない内にどんどん蝕まれて行く。

それが愛し合つてはいけない私達の、宿命。

血の繋がつた兄妹である限り、避けられない現実。

それから一年後、慎はこの世から消え去った。

\* \* \* \* \*

私は日が覚めてから、ずっと窓の外の空を見ていた。  
雲一つ無い、青く綺麗な空だった。

「麻知一起きてるー？もつ朝ご飯よー」

下の階から、母の呼ぶ声。

「はーい・今行くー！」

声をかけ、階段を駆け下りる。

母は、私達が犯した過ちを知っている。  
しかし、決して私達を責める事は無かった。

実は、母も知らない事が唯一つ有る。

慎がこの世から居なくなる1月ほど前。

私達は教会へ行つた。

古く、もう使われる事も無くなつた教会。

中はまだ使われていた当時のままだつた。

私達はそこで、最後に誓つた。

「私達は、結ばれた事を後悔しません」

「僕達は、お互い他の人と結ばれても、僕達の気持ちは消さない事

を、誓います」

私達は、最後に、結ばれた……。

END

(後書き)

他サイトでリクされた小説です。恋愛&amp;感動の混ざり物です

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n5035a/>

---

私達の愛

2010年12月25日14時14分発行